

自動車の台数前提

資料3-3
別紙2

預託台数

(単位:万台)

	H16年度 (1~3月)	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度 (4~12月)	H27年度 予算	H28年度 予算	実績累計 (H17.1~H27.12)
新車購入時預託	174	588	563	532	471	489	461	476	522	570	530	347	551	512	5,723
継続検査時等預託	786	3,105	2,077	337											6,304
引取時預託(※1)	45	251	187	61	33	13	12	9	7	6	5	3	5	3	632
合計	1,005	3,944	2,826	930	504	501	472	485	529	576	536	350	556	515	12,660
引取時預託(※2)	0.5	7	19	23	18	21	14	7	7	5	4	2	3	2	129
番号不明被災自動車								0.8	0.3	0.1	0.0	0.0			1.3

(※1)後付預託及び番号不明被災自動車を除く。

(※2)後付預託のみ。

引取業者引取台数

(単位:万台)

	H16年度 (1~3月)	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度 (4~12月)	H27年度 予算	H28年度 予算	実績累計 (H17.1~H27.12)
引取業者引取台数	47	305	357	371	358	392	365	296	341	343	333	237	337	330	3,745

輸出返還台数

(単位:万台)

	H16年度	H17年度 (7~3月)	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度 (4~12月)	H27年度 予算	H28年度 予算	実績累計 (H17.7~H27.12)
輸出返還台数		2	38	110	144	78	91	93	112	133	150	111	150	150	1,062

(※3)輸出返還の実務は、H17年7月から開始。

【参考】H28年度想定台数の算出方法

<新車時預託台数>

- H27年度実績見込みを基に、H29年4月に予定する消費税増税前の駆け込みによる影響を考慮して設定
H27年度実績見込み台数：490万台 → H28年度想定台数：512万台 (4.5%増*)
*(予想した消費税増税前駆け込みの影響) H26年4月に行われた増税と比べ、上げ幅が低いこと等から、前回増税時(前年度比9%増)の半分程度(前年度比4.5%(22万台)増)の影響と予想

<引取業者引取台数>

- 過去10年間の曜日別の台数実績を基に、消費税増税前の駆け込みによる影響を考慮して設定
過去10年間の曜日別の台数実績を基にしたベース台数322万台に消費税増税前の駆け込みによる影響7.5万台*を加えた台数 → H28年度想定：330万台
*(消費税増税前駆け込み影響)：H26年4月に行われた増税と比べ、上げ幅が低いこと等から、前回増税時(11万台増)の3分の2程度(7.5万台増)の影響と予想
- ※払渡台数
 - ASR...引取業者引取台数を基に、廃車ガラ輸出等により払渡されない分(2.2%)を考慮して設定
 - エアバッグ類、フロン類...引取業者引取台数を基に、想定装備率(エアバッグ類77.5%、フロン類87.6%)を考慮して設定
 - 情報管理預託...使用済自動車の引取時から情報管理料金の払渡までに要する期間(1ヶ月程度)を考慮して設定

<輸出返還台数>

- H27年度実績見込みと同水準の台数と予想し想定台数を設定
H27年度実績見込み：150万台 → H28年度想定台数：150万台